

チュートリアル

MV-410HS Layout Editor (Version2.0-higher)

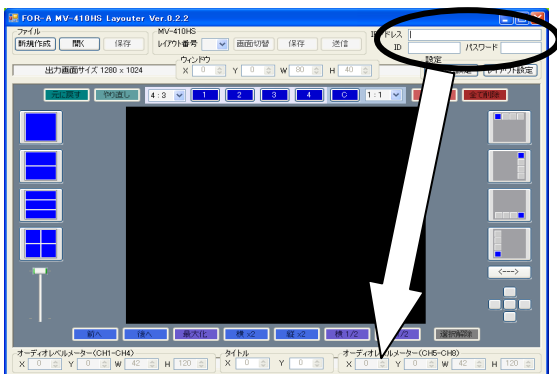
1. はじめに.....	2
2. MV-410HSからレイアウトを呼び出す	2
3. ウィンドウの追加・削除	2
ウィンドウの追加.....	2
ウィンドウの削除.....	3
4. ウィンドウのサイズ変更・レイヤ変更	4
サイズ変更	4
レイヤ変更.....	4
5. ウィンドウの移動.....	5
6. ウィンドウのチャンネル変更.....	5
7. ボーダーの表示	5
8. オーディオレベルメータ表示	6
オーディオレベルメータの表示	6
オーディオレベルメータのサイズ変更・移動	6
9. タイトル表示	7
タイトルの表示.....	7
タイトルの移動.....	7
10. 時計設定・画面表示モード.....	8
11. その他のシステム設定ダイアログ	9
オーディオレベルメータ設定	9
タリ設定	9
ビデオロス設定.....	10
フル画面設定	10
クロップ設定	11
12. レイアウトの保存.....	11
MV-410HSに保存する	11
PCに保存する	11
13. レイアウトの新規作成.....	11
14. Layout Editorのパターンを呼び出す	12
15. 実践.....	12
4等分割画面・(タイトル・ボーダー付・レベルメータ 外付) を作る.....	12
1+3分割画面・(タイトル・レベルメータ・ボーダー 付き) を作る.....	14

1. はじめに

MV-410HS Layout Editor で出力画面のレイアウトを編集するには、いろいろなアプローチ方法があります。まず、MV-410HS の出荷時に登録されている画面レイアウトを呼び出して編集する方法、オフライン作業で最初からレイアウトを作る方法、あるいは、レイアウトエディタに登録されているパターンを呼び出して編集する方法です。また、一度作成したレイアウトは、MV-410HS または PC に保存しておき、再度呼び出して編集することもできます。ここでは初めに MV-410HS からレイアウトを呼び出して編集する方法を説明します。

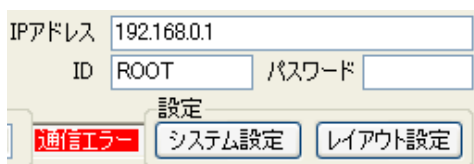
2. MV-410HSからレイアウトを呼び出す

- 1) 全てのセットアップを終わらせ、レイアウトエディタを起動させます。起動するとメイン画面が開くので、画面右上のボックスに、IP アドレス、ID、パスワードを入力します。工場出荷時の設定は以下の通りです。



IPアドレス 192.168.0.1
ID ROOT パスワード *****
パスワード: 00000

IP アドレス、ID、パスワードが正しくない場合には下図のような[通信エラー]が表示されるので、入力し直してください。

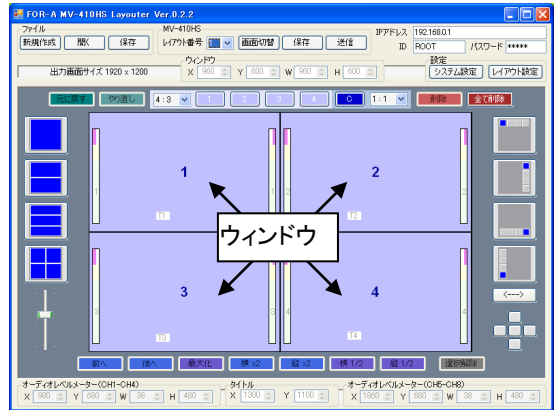


- 2) メイン画面上部の[レイアウト番号]のドロップダウンメニューで MV-410HS に登録されているレイアウトを選択します。

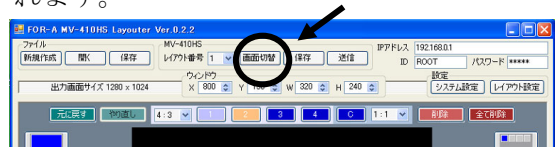


ドロップダウンメニューでは[1]~[4]を選択することができます。それぞれの番号で違うレイアウトが編集エリアに表示されます。

[1]を選択してください。画面は下図のように表示されます。



- 3) [画面切替]をクリックすると、モニタに編集エリアと同じレイアウトの画面が表示されます。



3. ウィンドウの追加・削除

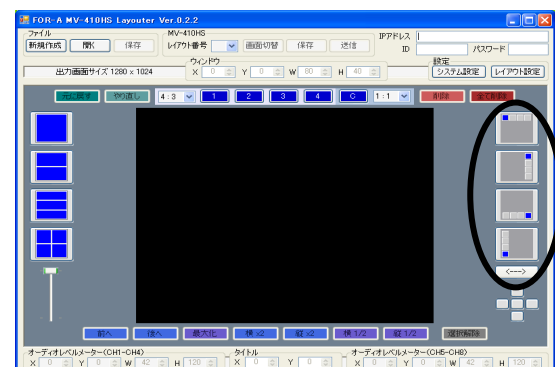
ウィンドウの追加

ウィンドウの追加には、2つの方法があります。

1. 編集エリアのすぐ上にある[1]~[4]、[C]をクリックして追加する



2. 編集エリア右手のアイコンで 1/4 サイズのウィンドウを追加する



ウィンドウの削除

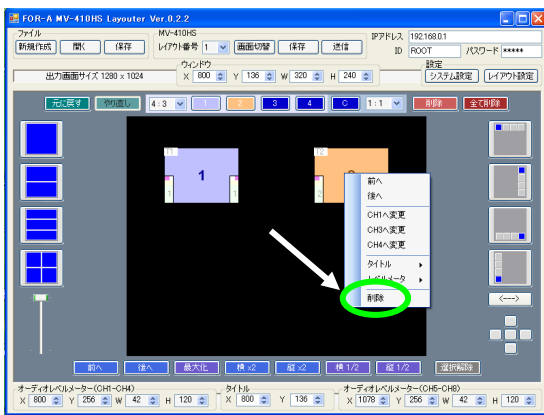
ウィンドウの削除には、3つの方法があります。

1. ウィンドウを選択し、[削除]をクリックして削除する

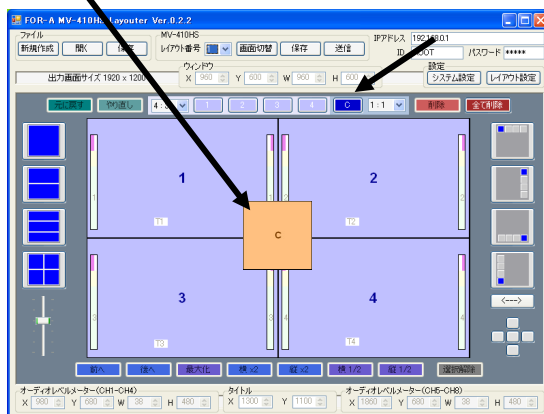


2. [全て削除]をクリックして、表示されている全てのウィンドウを削除する

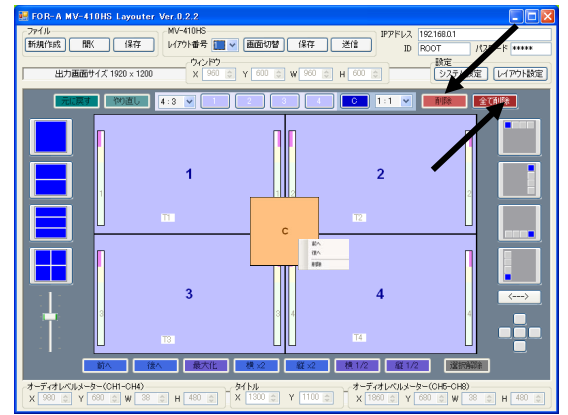
3. 選択したウィンドウの右クリックメニューで[削除]を選択する



では、実際に追加と削除を行ってみましょう。
まず時計を追加します。
編集エリアのすぐ上にある[C]をクリックすると、時計ウィンドウが表示されます。



では、これを削除します。
マウスポインタを時計ウィンドウの上に置き、右クリックメニューで削除を選択します。または、[C]をクリックして時計ウィンドウを選択し、[C]右手の[削除]をクリックします。



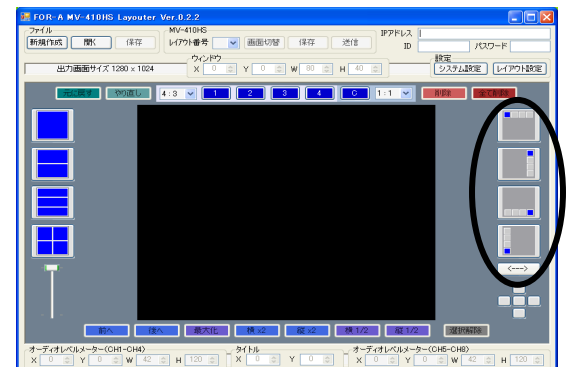
さらに、[削除]の右手の[全削除]をクリックすると、全てのウィンドウが削除されます。

では、再びウィンドウを追加してください。
[1]~[4]のウィンドウの追加ボタンを順番にクリックすると、ウィンドウが追加されます。



そこで、再度[全て削除]をクリックしてください。
次に、[元に戻す]をクリックします。直前の操作がキャンセルされ、ウィンドウが表示されます。
次に、[やり直し]をクリックしてください、キャンセルされた操作が再度実行され、ウィンドウが全て削除されます。

では、編集エリア右手のウィンドウ追加アイコンをクリックしてウィンドウを追加してみます。
このアイコンは、クリックする毎に 1/4 サイズのウィンドウを順番に 4 つ表示させます。各アイコンの色の違うウィンドウが表示開始位置です。
このアイコンの下の矢印ボタンは、表示開始位置を上下左右反転させます。では、いずれかのアイコンを押して 4 つのウィンドウを表示してください。

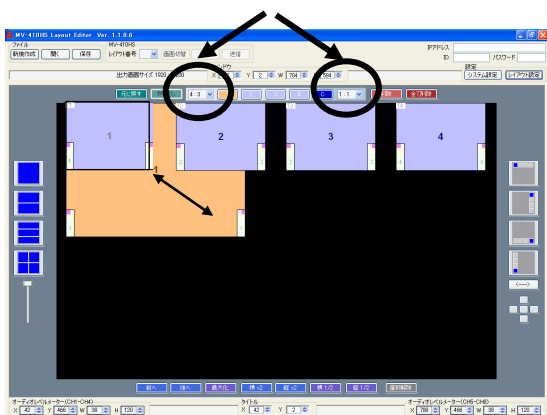


4. ウィンドウのサイズ変更・レイヤ変更

サイズ変更

ウィンドウのサイズ変更には3つの方法があります。

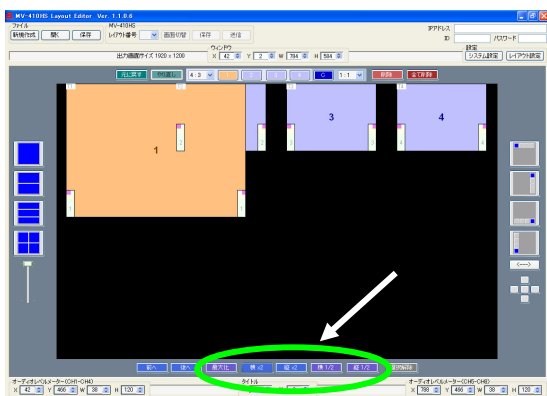
1. ウィンドウの端にカーソルを合わせ、マウスでドラッグしてサイズを指定する方法。ウィンドウボタン左手のプルダウンメニューでウィンドウのアスペクト比を[Free]に設定すると、縦横のアスペクト比を固定せずにサイズを変更することができます。アスペクト比を保ちたい場合は下の表のようにアスペクト比を指定してください。



16:9	HD 信号表示用
4:3	SD 信号表示用
1:1	アナログクロック表示用 (ウィンドウボタン右側プルダウンメニュー)
Free	アスペクト比設定なし

2. 編集エリア下の[最大化]、[横×2]、[縦×2]、[横1/2]、[縦1/2]のボタンでサイズを設定する方法。

サイズ変更するウィンドウをマウス、またはウィンドウボタンで選択してから、ボタンをクリックします。



3. 編集エリア上の、[ウィンドウ]の[W]と[H]で数値を設定する方法。

マウスまたはウィンドウボタンでウィンドウを選択してから数値を変更します。ボックス横のスピンボタンをクリックすると、8ピクセルずつ増減します。設定が8ピクセルずつなので、アスペクト比が多少変わることがあります。



では、いずれかの方法でウィンドウ 1 (ウィンドウの中にウィンドウ番号が表示されていません。) を大きくしてみてください。さらに、他のウィンドウも大きくしてみてください。

- ウィンドウの最小サイズは 120(W)×80(H)です。ビデオ信号の表示領域は 96(W)×56(H)以上必要なため、ウィンドウサイズが小さく、ボーダーの表示幅が太く設定されている場合は、自動的にボーダーが細く表示されます。

- 分割画面表示時の各ウィンドウ内のビデオ信号の表示方法は、画面表示モードにより異なります。画面表示モードは画面右上のシステム設定ボタンでシステムページを開き選びます。

<MODE1 および MODE2 選択時>

入力されているビデオ信号のアスペクト比を自動検出し、アスペクト比を保った状態でウィンドウ内に最大表示されるよう調整します。

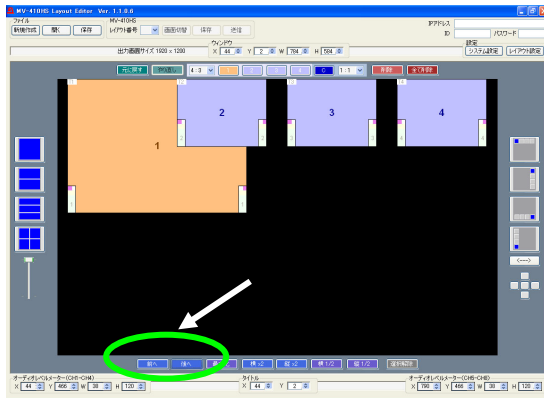
<MODE3 選択時>

入力されているビデオ信号のアスペクト比に関係なく、ウィンドウ内いっぱいに表示されます。

レイヤ変更

ウィンドウを大きくしたので、他のウィンドウと重なっています。ここで重なっているウィンドウの順番を変更してみます。

まず、表示順序を変更したいウィンドウを選択し、編集エリア下の[前へ]、または[後へ]をクリックします。[前へ]をクリックすれば最前面に、[後へ]をクリックすれば最背面になります。また、ウィンドウを選択して右クリックメニューで[前へ]、[後へ]を選択して変更することもできます。

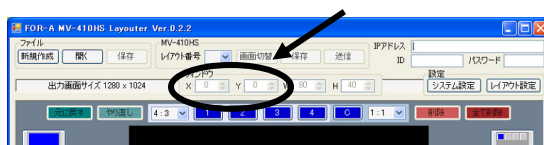


では、次のウィンドウの移動を説明するために、それぞれのウィンドウを元の 1/4 のサイズ位に小さくしてください。

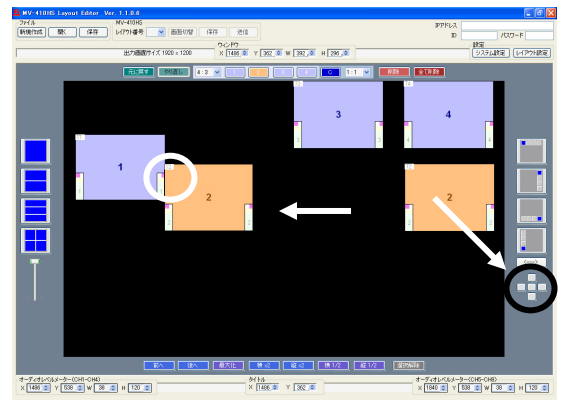
5. ウィンドウの移動

ウィンドウの移動方法は、3つあります。

1. マウス操作で自由に移動したい位置までドラッグして離す方法。
2. 編集エリア上の[ウィンドウ]の[X]と[Y]の数値を変更して移動させる方法。
Xは横方向の座標で、左端が0です。数値が大きくなるほど右に移動します。
Yは縦方向の座標で、上端が0です。数値が大きくなるほど下に移動します。
XもYも2ピクセル単位で設定を変えられます。



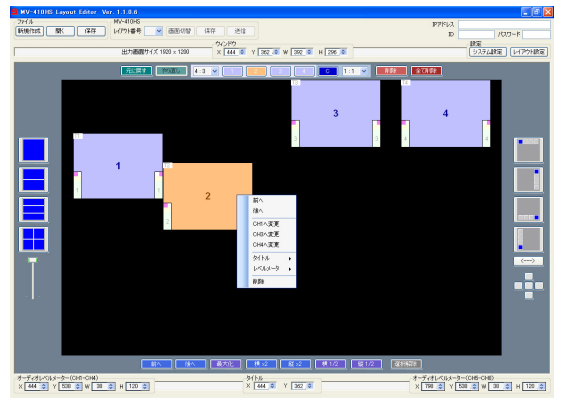
3. 編集エリア右手に十字に配置された5つのボタンで移動させる方法。
このボタンは、選択したウィンドウを上下左右それぞれの方向にある他のウィンドウとの接点、あるいは、その方向に他のウィンドウが無い場合には表示画面端に即時移動させます。真ん中のボタンは画面中心に移動させます。
(次の例はウィンドウ2を左側のボタンでウィンドウ1との接点まで移動した場合です。)



6. ウィンドウのチャンネル変更

次に、ウィンドウに表示されている入力チャンネルを変更します。

まず、変更するウィンドウを選択し、マウスの右クリックメニューからウィンドウに表示したいチャンネルを選択します。



他のウィンドウに割り当ててあるチャンネルを選択した場合は、選択したチャンネルを表示していたウィンドウと表示チャンネルが入れ替わります。同じチャンネルの映像を複数のウィンドウに表示することはできません。

7. ボーダーの表示

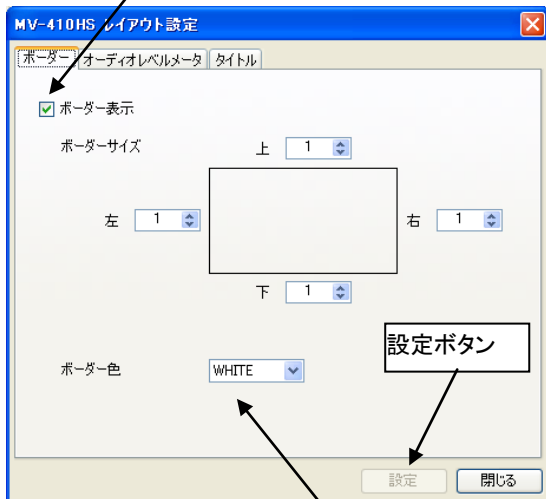
ボーダー表示の設定はレイアウト設定ダイアログのボーダータブで行います。

- 1) メイン画面右上[設定]の[レイアウト設定]をクリックしてレイアウト設定ダイアログを開きます。



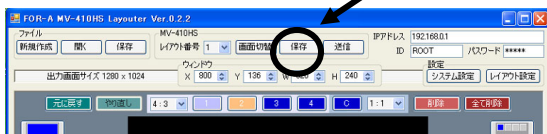
- 2) ボーダータブを開きます。

ボーダー表示する場合はチェックをします。



ボーダーの色を選びます。

- 3) 画面中央四角の周りの[上][下][左][右]と書かれたボックスでそれぞれのボーダーの太さを設定します。0から50まで選択でき、1単位で2ライン、または2ピクセルずつ増減します。
- 4) [設定]をクリックして設定を反映させます。
- 5) 電源を落とした後も設定が消えないようにMV-410HSに保存します。画面右下の[閉じる]をクリックし、メイン画面に戻って[MV-410HS]の[保存]をクリックしてください。(他の設定画面での設定を終了した後でまとめて行うと良いでしょう。)



8. オーディオレベルメータ表示

オーディオレベルメータの表示

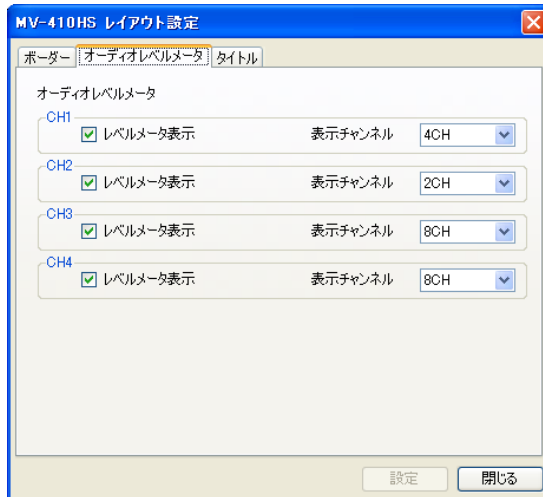
オーディオレベルメータ表示の設定はレイアウト設定ダイアログのオーディオレベルメータタブで行います。

- 1) メイン画面右上[設定]の[レイアウト設定]をクリックしてレイアウト設定ダイアログを開きます。(フル画面表示設定のときは、

レイアウト設定ではなくシステム設定のフル画面で設定します。)



- 2) オーディオレベルメータタブを開きます。



- 3) チャンネル毎にオーディオレベルメータを表示する場合、[レベルメータ表示]チェックボックスにチェックをし、表示オーディオチャンネル数を[表示チャンネル]ドロップダウンメニューから選択します。[2CH]、[4CH]、[8CH]が選べます。ウィンドウ番号ではなく、チャンネル番号で設定します。
- 4) [設定]をクリックして設定を反映させます。
- 5) 電源を落とした後も設定が消えないようにMV-410HSに保存します。画面右下の[閉じる]をクリックし、メイン画面に戻って[MV-410HS]の[保存]をクリックしてください。(他の設定画面での設定を終了した後でまとめて行うと良いでしょう。)

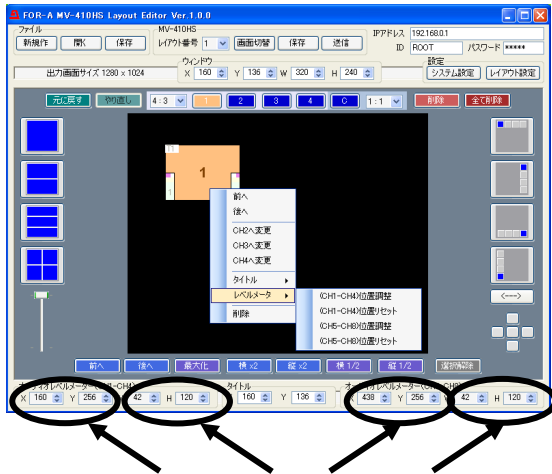


オーディオレベルメータのサイズ変更・移動

オーディオレベルメータのサイズ変更はメイン画面下の[オーディオレベルメータ]の[W]、[H]で数値を変更して行います。オーディオレベルメータのサイズ変更は位置の変更をする前に行いましょう。

オーディオレベルメータを移動させる方法は2つあります。

1. メイン画面で、移動したいオーディオレベルメータのウィンドウをマウスで選択し、右クリックメニューで[レベルメータ]→[(CH1-CH4)位置調整]または[(CH5-CH8)位置調整]を選択すると、マウスカーソルとレベルメータ表示位置が連動します。表示したい位置にカーソルを移動し、目的の位置でマウスの左ボタンをクリックします。



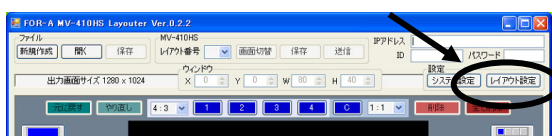
2. メイン画面で、移動したいオーディオレベルメータのウィンドウをマウスで選択し、編集エリア下の設定ボックスで CH1-CH4 と CH5-CH8 それぞれの[X]、[Y]の数値を変更します。

9. タイトル表示

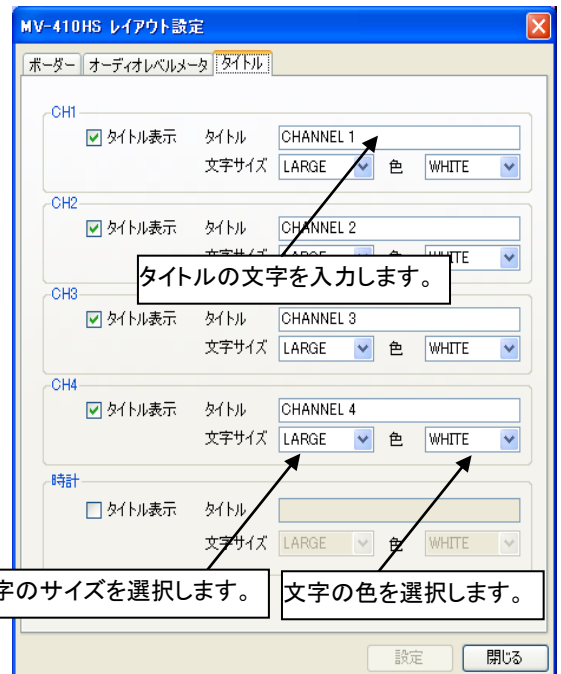
タイトルの表示

タイトルの設定はレイアウト設定画面のタイトルタブのページで行います。

- 1) メイン画面右上[設定]の[レイアウト設定]をクリックしてレイアウト設定ダイアログを開きます。(フル画面表示設定のときは、レイアウト設定ではなくシステム設定のフル画面で設定します。)



- 2) タイトルタブを開きます。



- 3) 各チャンネルまたは時計ウィンドウにタイトルを表示する場合、それぞれの[タイトル表示]チェックボックスにチェックします。ウィンドウ番号ではなく、チャンネル番号で設定します。
- 4) タイトル文字を入力し(16文字まで)、文字サイズを[大]、[中]、[小]から、文字色を[白]、[黄色]、[緑]、[青緑]、[赤]、[赤紫]、[青]、[灰色]、[黒]から選びます。
- 5) [設定]をクリックして設定を反映させます。
- 6) 電源を落とした後も設定が消えないようにMV-410HSに保存します。画面右下の[閉じる]をクリックし、メイン画面に戻って[MV-410HS]の[保存]をクリックしてください。(他の設定画面での設定を終了した後でまとめて行うと良いでしょう。)

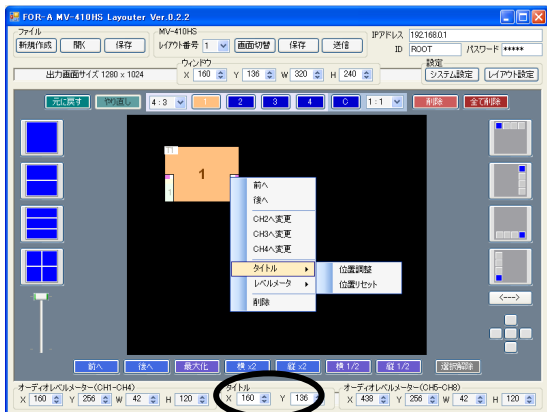


タイトルの移動

タイトルを移動させる方法は2つあります。

1. メイン画面で、タイトルを移動したいウィンドウをマウスで選択し、右クリックメニューで[タイトル]→[位置調整]を選択するとマウスカーソルとタイトル表示位置が連動

します。表示したい位置にカーソルを移動し、目的の位置でマウスの左ボタンをクリックします。



2. メイン画面で、タイトルを移動したいウィンドウをマウスで選択し、編集エリア下の設定ボックスで[X]、[Y]の数値を変えます。

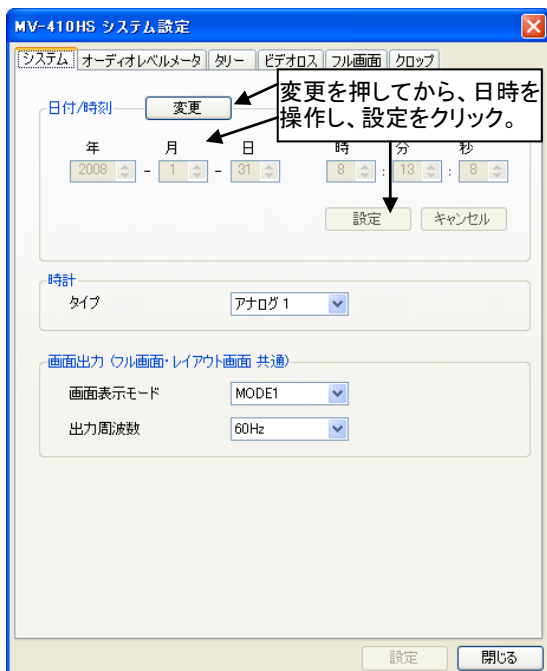
10. 時計設定・画面表示モード

時計の時刻設定、表示時計の種類、画面アスペクト比に関する画面表示モードはシステム設定ダイアログのシステムタブで設定します。

- 1) メイン画面右上[設定]の[システム設定]をクリックしてシステム設定画面を開きます。



- 2) システムタブを開きます。



- 3) 日付・時刻を調整するときは、まず[日時/時刻]の[変更]をクリックしてから、数値を調整し、[日時/時刻]の[設定]をクリックします。
- 4) [時計]のタイプは下の4種類から選ぶことができます。

<アナログ 1>



<アナログ 2>



<デジタル 1>



<デジタル 2>



- 5) [画面出力]では画面表示モードと出力周波数を選びます。

画面表示モードは、

[フル画面表示の場合]は以下のように変わります。

MODE1：タイトル・オーディオメータが映像に重ならない。

MODE2：入力信号のアスペクト比を保ち、タイトル・オーディオメータが映像に重なる。

MODE3：タイトル・オーディオメータが映像に重なり、かつ、入力信号のアスペクト比に関わらず画面いっぱいに表示する。

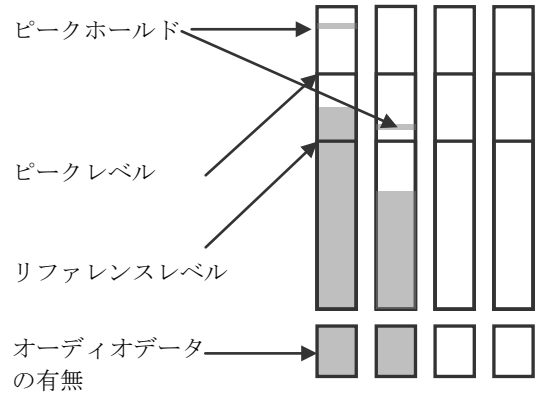
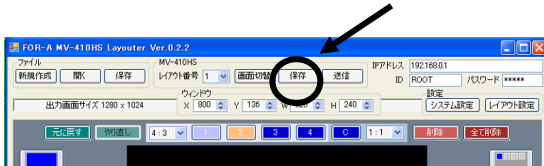
[分割画面表示の場合]はタイトル・オーディオレベルメータは自由に移動できるので、MODE1とMODE2は同じようにアスペクト比を保つ表示で、MODE3のみアスペクト比に関わらず画面いっぱいに表示するようになります。

出力周波数

出力の垂直周波数は60Hz、59.94Hz、50Hzから選択できます。

例) 入力信号が1080/50i等の場合、出力周波数を50Hzにすることで、映像のカクツキを減少させることができます。

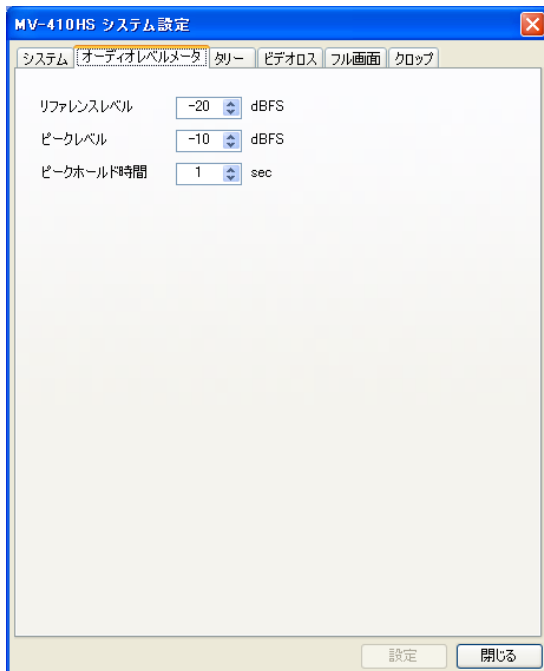
- 6) [設定]をクリックして設定を反映させます。
- 7) 電源を落とした後も設定が消えないようにMV-410HSに保存します。画面右下の[閉じる]をクリックし、メイン画面に戻って[MV-410HS]の[保存]をクリックしてください。
(他の設定画面での設定を終了した後でまとめて行うと良いでしょう。)



11. その他のシステム設定ダイアログ

オーディオレベルメータ設定

オーディオレベルメータタブを開くと、リファレンスレベル、ピークレベル、またはピークホールド時間が設定できます。



オーディオレベルメータは次のように表示され、リファレンスレベルを超えると黄色に、ピークレベルを超えると赤色に表示されます。

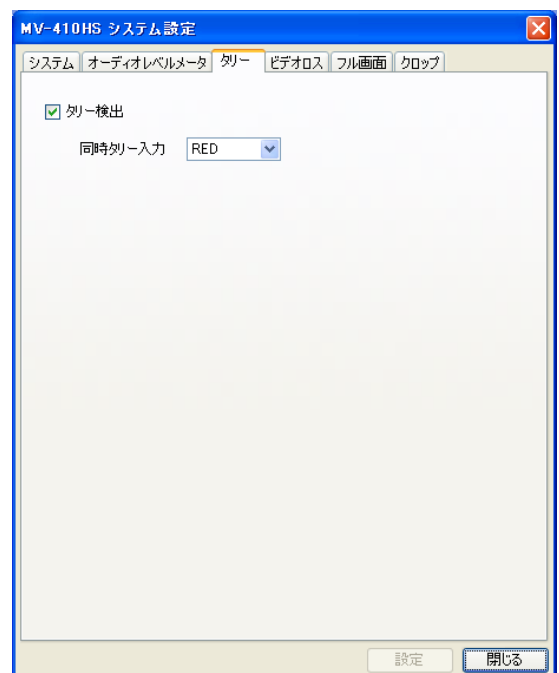
タリー設定

タリータブでは、タリー検出の ON/OFF と、赤と緑のタリー信号が同時に入力されたときの表示色を赤とオレンジの2色から選択することができます。

タリー検出をするためには、MV-410HS 背面の TALLY IN/REMOTE コネクタにタリー信号を入力するようにセットしてください。

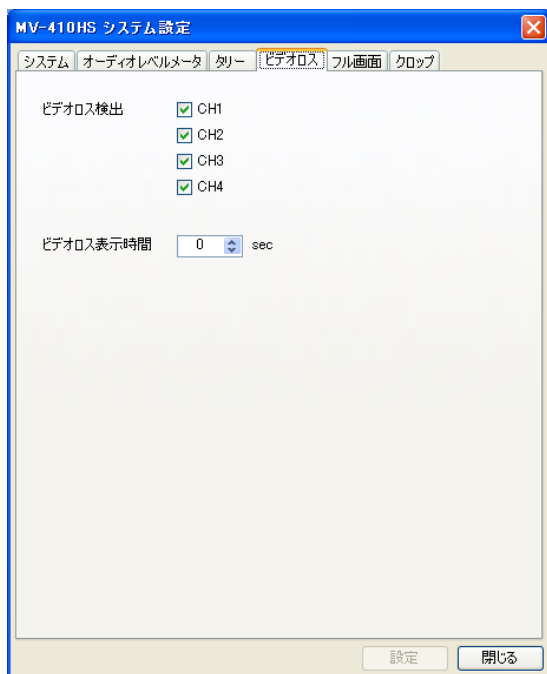
設定が終了したら、[設定]をクリックして設定を反映させ、更に電源を落とした後も設定が消えないように、画面右下の[閉じる]をクリックし、メイン画面に戻って[MV-410HS]の[保存]をクリックして保存します。

(他の設定画面での設定を終了した後でまとめて行うと良いでしょう。)



ビデオロス設定

ビデオロスタブを開くと、チャンネル毎にチェックボックスがあります。ビデオロス検出を有効にする場合はチェックを入れます。また、ビデオロス表示時間ボックスでは、アラームの表示時間を 0 秒から 100 秒の範囲で設定します。



アラームは次の図のように表示されます。



設定が終了したら、[設定]をクリックして設定を反映させ、更に電源を落とした後も設定が消えないように、画面右下の[閉じる]をクリックし、メイン画面に戻って[MV-410HS]の[保存]をクリックして保存します。

(他の設定画面での設定を終了した後でまとめて行うと良いでしょう。)

フル画面設定

フル画面タブを開くと、フル画面出力時の出力画面サイズ、レベルメータ表示、タイトル表示の設定ができます。

出力画面サイズは、プルダウンメニューで [1280×1024]、[1360×768]、[1600×1200]、[1920×1200]、[1440×900]、[1680×1050]、[1920×1080]、[1280×720] の 8 つから選びます。

オーディオレベルメータ、タイトル表示の設定はチャンネル毎に設定できます。

表示オーディオチャンネル数は[2CH]、[4CH]、[8CH]から選びます。

タイトル文字は直接入力します。文字サイズは [大]、[中]、[小]から選び、文字色は [白]、[黄色]、[緑]、[青緑]、[赤]、[赤紫]、[青]、[灰色]、[黒]から選びます。

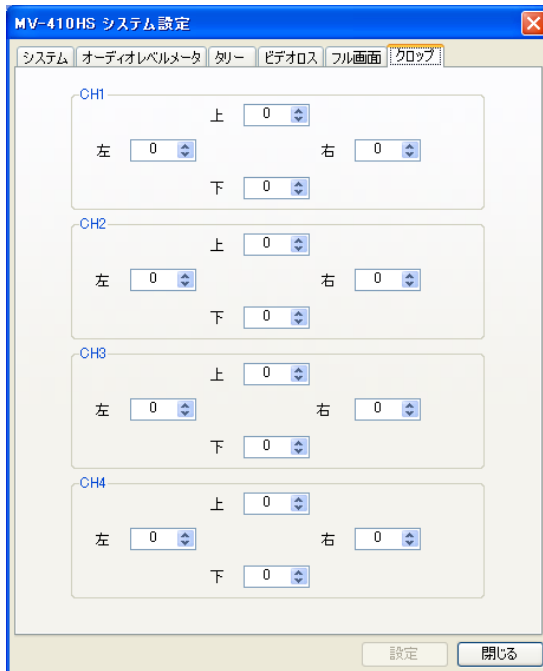


設定が終了したら、[設定]をクリックして設定を反映させ、更に電源を落とした後も設定が消えないように、画面右下の[閉じる]をクリックし、メイン画面に戻って[MV-410HS]の[保存]をクリックして保存します。

(他の設定画面での設定を終了した後でまとめて行うと良いでしょう。)

クロップ設定

クロップタブでは、映像の上下左右切り取る幅を設定をすることができます。これは 4:3 画像と 16:9 画像の変換を行った際に生じる黒い部分を減し、出力映像いっぱいに表示するためにいきます。



上下左右とも 4 単位で 0 から 120 の範囲で数値が変更できます。

設定が終了したら、[設定]をクリックして設定を反映させ、更に電源を落とした後も設定が消えないように、画面右下の[閉じる]をクリックし、メイン画面に戻って[MV-410HS]の[保存]をクリックして保存します。

(他の設定画面での設定を終了した後でまとめて行うと良いでしょう。)

12. レイアウトの保存

MV-410HSに保存する

MV-410HS から呼び出したレイアウトに編集結果を保存して、再度使えるようにするために、メイン画面中央上部の[MV-410HS]の[保存]をクリックします。



MV-410HS 本体に保存できるレイアウト数は 4 つですので、沢山レイアウトを保存しておくためには次の「PCに保存」を行います。

PCに保存する

作成したレイアウトを PC にファイルとして保存する場合は、メイン画面左側上部の[ファイル]の[保存]をクリックし、任意の名前をつけて保存します。保存したファイルは[ファイル]の[開く]で再度読み出すことができます。



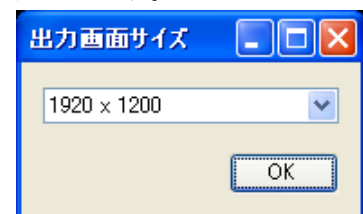
13. レイアウトの新規作成

新規にレイアウトを作成する場合、出力画面サイズを選択することができます。

- 1) オフライン作業で新規レイアウトを作成する場合は、メイン画面上部[ファイル]の[新規作成]をクリックします。モニタ画面に表示しながらレイアウトを新規作成する場合は、新規作成するレイアウト番号を[1]~[4]から選択し、メイン画面上部[ファイル]の[新規作成]をクリックします。



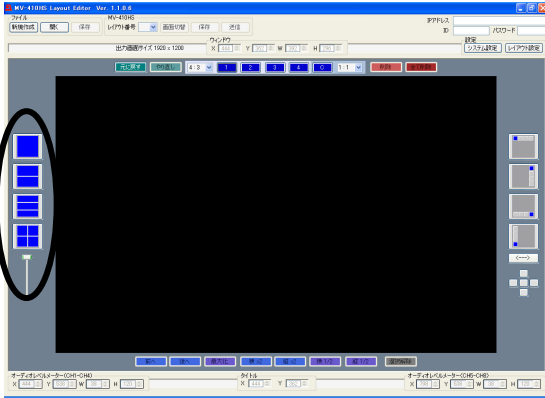
- 2) レイアウト番号を選択すると、「現在のレイアウトは削除されます。ファイルへ保存しますか?」と表示されますので、「いいえ」をクリックします。表示されていたレイアウトが閉じます。同様に、開いているレイアウトがあるときに[新規作成]をクリックすると同じメッセージが表示されます。保存する場合は、前項の説明に従って保存してください。
- 3) 出力画面サイズ選択ダイアログが表示されますので、出力画面サイズを選択し、[OK]をクリックします。



以降の編集操作は、これまでに説明した操作と同じです。保存も同様に行ってください。

14. Layout Editorのパターンを呼び出す

MV-410HS Layout Editorには沢山のパターンが登録してあります。それらのパターンはメイン画面左手のプリセットパターン呼び出しアイコンで簡単に呼び出すことができます。



4つあるフル画面、2分割、3分割、4分割画面のそれぞれのアイコンをクリックすると、編集エリアにレイアウトが表示されます。フル画面は1種類ですが、複数パターンがある場合は、アイコンをクリックする度に違うレイアウトが次々に表示されます。アイコンの下のスライダーを上下させても同様にパターンが選べます。パターン数はそれぞれ以下の通りです。

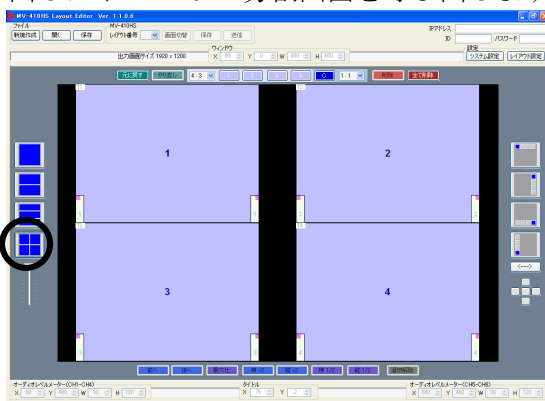
- 2分割画面：2
- 3分割画面：6
- 4分割画面：11

15. 実践

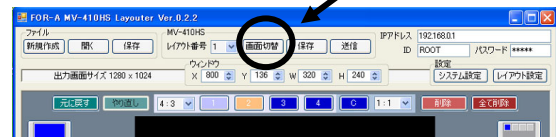
4等分割画面・(タイトル・ボーダー付・レベルメーター外付) を作る

4等分割画面を表示させます。

- 1) メイン画面左手のプリセットパターン呼び出しアイコンで4分割画面を呼び出します。



- 2) [レイアウト番号]ドロップダウンメニュー横の[画面切替]をクリックし、モニタに同じレイアウトの画面を表示させます。

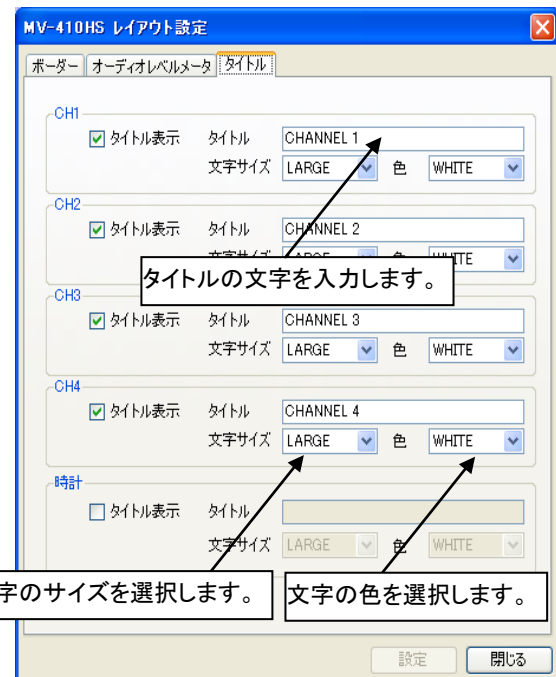


タイトルを表示させます。

- 3) メイン画面右上の[レイアウト設定]をクリックしてレイアウト設定ダイアログを開きます。



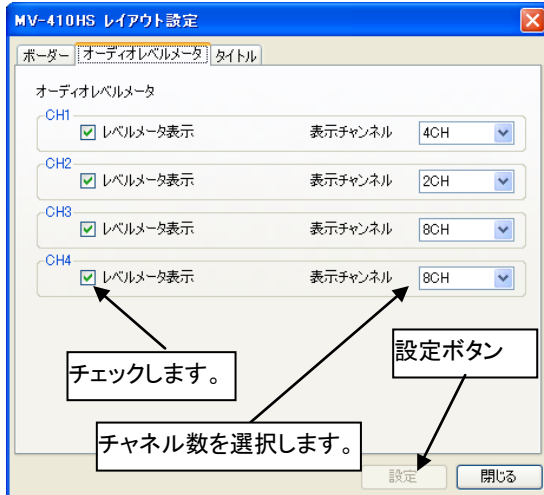
- 4) タイトルタブを開きます。



- 5) チャンネル毎に[タイトル表示]チェックボックスにチェックし、タイトル文字を入力、文字サイズ、色を設定します。
- 6) 設定ダイアログ右下の[設定]をクリックして設定を反映させます。

オーディオレベルメータを表示させます。

7) オーディオレベルメータタブを開きます。

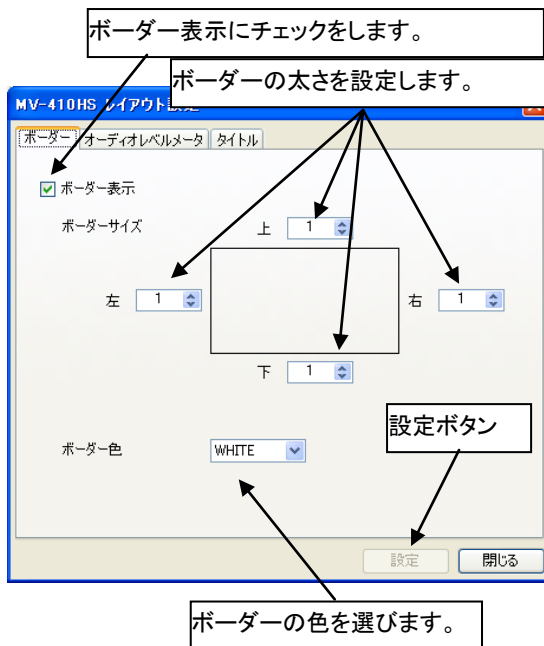


8) 全てのチャンネルの[レベルメータ表示]にチェックし、表示チャンネル数を設定します。

9) [設定]をクリックして設定を反映させます。

ボーダーを表示させます。

10) ボーダータブを開きます。



11) [ボーダー表示]チェックボックスにチェックし、ボーダー色を選択します。ボーダーラインの幅を上下左右それぞれに設定します。

12) 設定画面右下の[設定]をクリックして設定を反映させます。

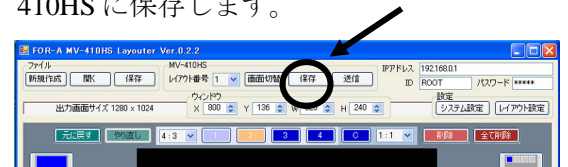
13) [設定]の横の[閉じる]をクリックして、メイン画面に戻ります。

オーディオレベルメータを映像画面外に移動します。

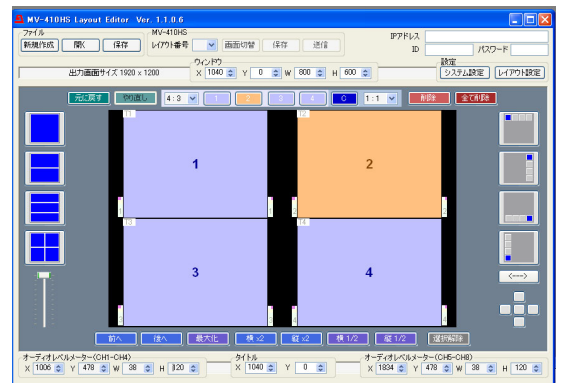
14) メイン画面で、オーディオレベルメータを移動したいウィンドウをマウスで選択します。右クリックメニューで[レベルメータ]→[(CH1-CH4)位置調整]を選択し、表示させたい位置へマウスを移動してクリックします。[(CH5-CH8)位置調整]も同じように行います。

15) 微妙なズレがある場合には編集エリア下の[X]、[Y]のスピンドット (1004) で調整してください。

16) 電源を落とした後も設定が消えないようにメイン画面の[保存]をクリックしてMV-410HSに保存します。



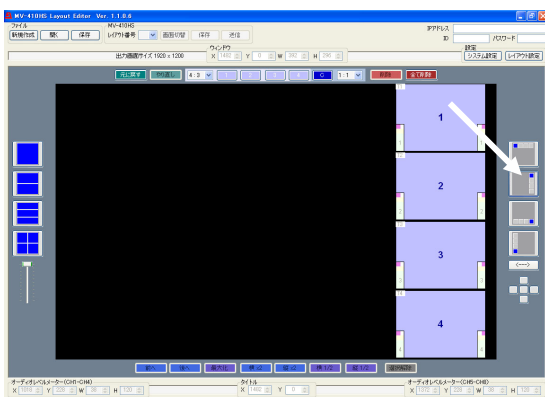
編集エリアの表示は下図のようになります。



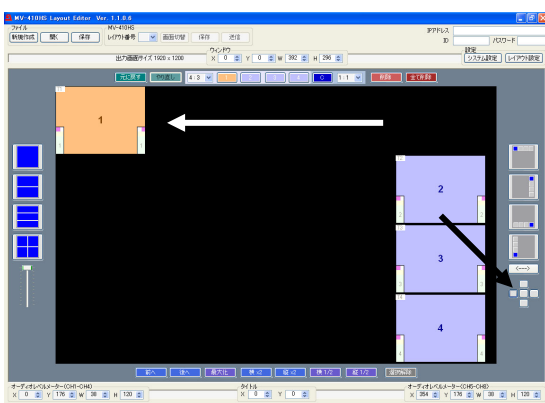
1+3 分割画面・(タイトル・レベルメーター・ボ ーダー付き) を作る

1/4 サイズ画面 4 つを表示します。

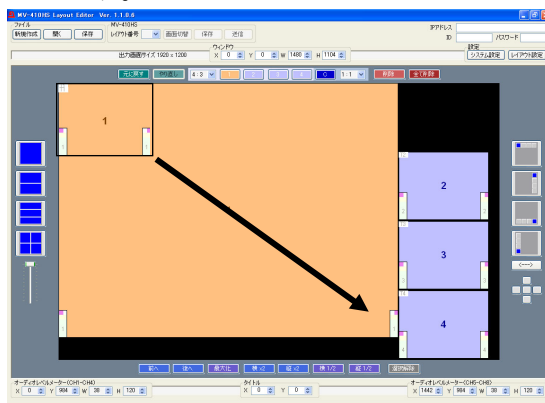
- 1) メイン画面右端の 1/4 サイズウィンドウ追加アイコンをクリックします。



- 2) マウスでウィンドウ 1 を選択し、ウィンドウ追加アイコン下にある 5 つのボタンの左側のボタンをクリックします。



- 3) ウィンドウ 1 右下の角をドラッグして大きくします。



タイトルを表示させます。

- 3) メイン画面右上の[レイアウト設定]をクリックしてレイアウト設定ダイアログを開きます。



- 4) タイトルタブを開きます。

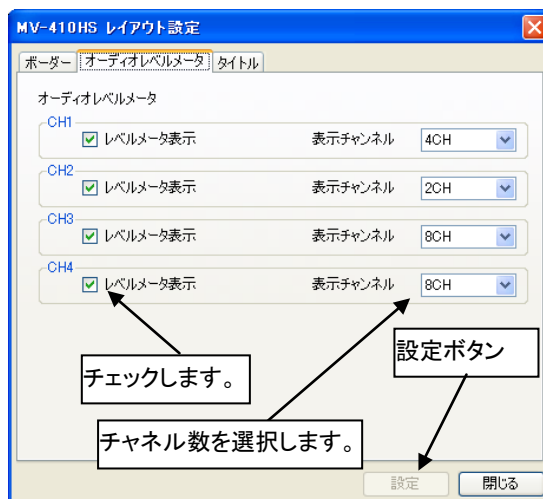


- 5) チャンネル毎に[タイトル表示]チェックボックスにチェックし、タイトル文字を入力、文字サイズ、色を設定します。

- 6) 設定画面右下の[設定]をクリックして設定を反映させます。

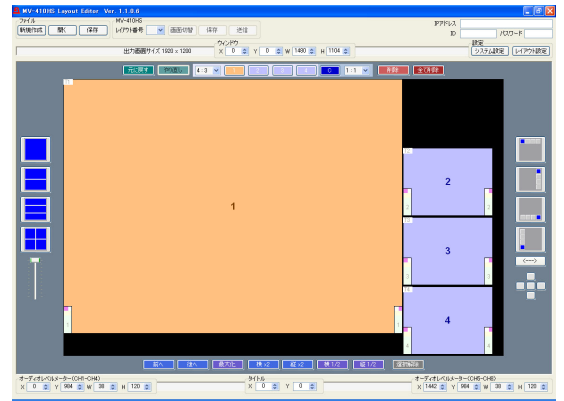
オーディオレベルメータを表示させます。

- 7) オーディオレベルメータタブを開きます。

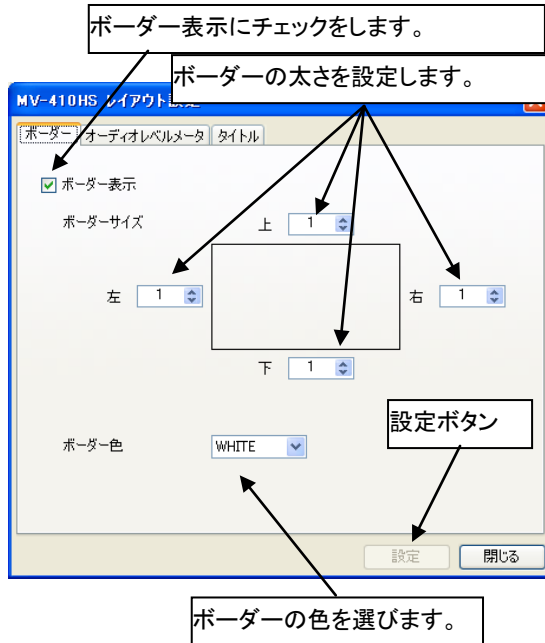


編集エリアの表示は下図のようになります。

- 8) 全てのチャンネルの[レベルメータ表示]にチェックし、表示チャンネル数を設定します。
- 9) [設定]をクリックして設定を反映させます。
ボーダーを表示させます。



- 10) ボーダータブを開きます。



- 11) [ボーダー表示]にチェックし、ボーダー色を選択します。ボーダーラインの幅を上下左右それぞれ設定します。
- 12) 設定画面右下の[設定]をクリックして設定を反映させます。
- 13) [設定]の横の[閉じる]をクリックして、メイン画面に戻ります。
- 14) 電源を落とした後も設定が消えないようにメイン画面の[保存]をクリックして MV-410HS に保存します。



サービスに関するお問い合わせは

FOR.A[®]
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY

24h
365 days サービスセンター

03-3446-8575

株式会社 朋栄

本 社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121 (代)
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288 (代)
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011 (代)
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181 (代)
中部・北陸営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691 (代)
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁堀 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591 (代)
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591 (代)
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178 (代)
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230 (代)
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018 (代)

その他のお問い合わせは、最寄りの営業所にご連絡ください。